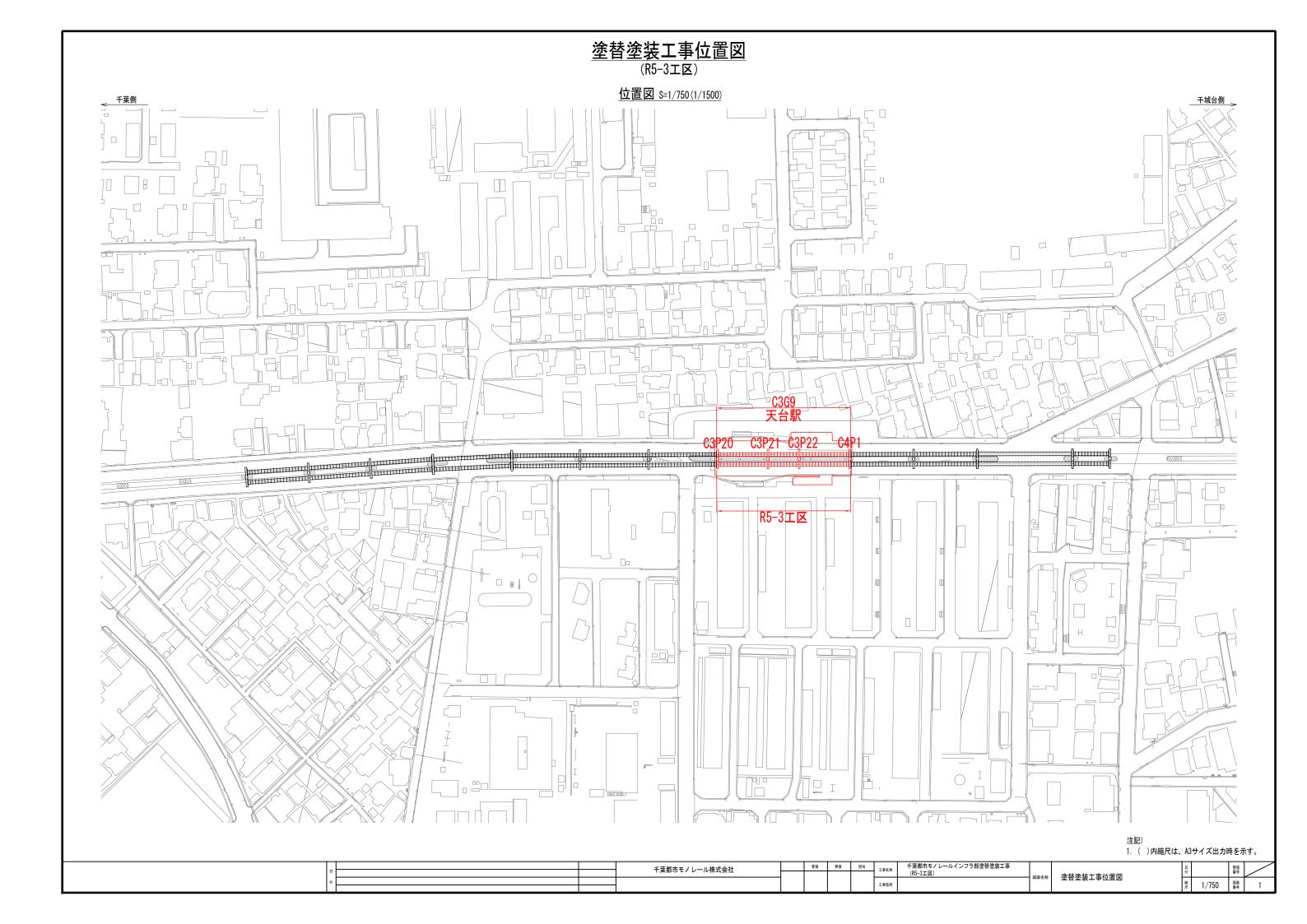
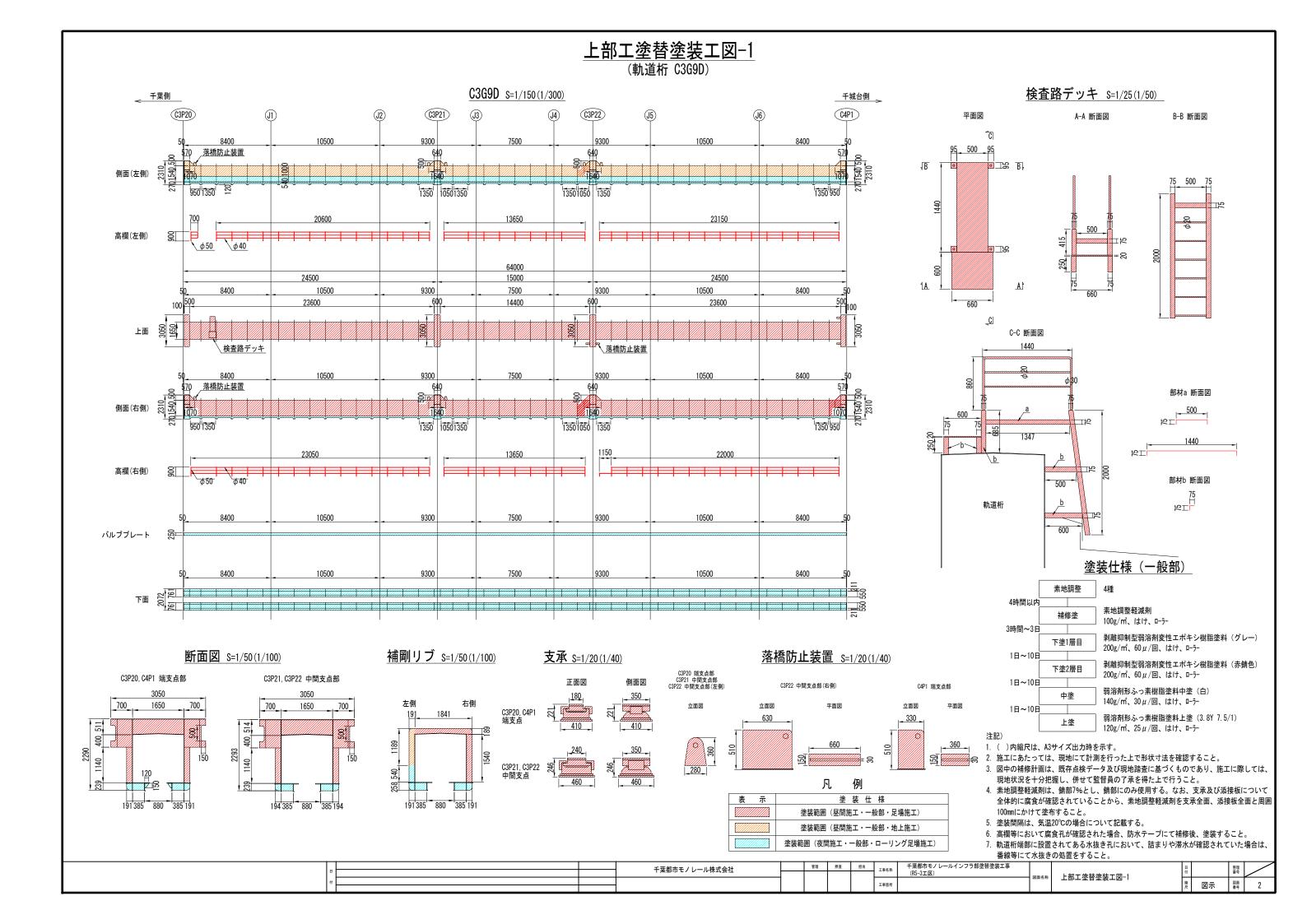
千葉都市モノレールインフラ部 塗替塗装工事(R5-3工区)

千葉都市モノレール株式会社

# 図面目録

図面番号	図面名称	詳細
1	塗替塗装工事位置図	
2	上部工塗替塗装工図-1	C3G9D
3	上部工塗替塗装工図-2	C3G9U
4	下部工塗替塗装工図-1	C3P20
5	下部工塗替塗装工図-2	C3P21
6	下部工塗替塗装工図-3	C3P22
7	下部工塗替塗装工図-4	C4P1
8	停留場塗替塗装工図-1	天台駅 軒天井土木梁-1
9	停留場塗替塗装工図-2	天台駅 軒天井土木梁-2
10	停留場塗替塗装工図-3	天台駅 ホーム階土木梁・横断防止柵
11	停留場塗替塗装工図−4	天台駅 サイン設備架台・駅舎屋根
12	停留場塗替塗装工図-5	天台駅 ホーム階屋根
13	停留場塗替塗装工図-6	天台駅 ホーム階 内壁・窓枠
14	停留場塗替塗装工図-7	天台駅 ホーム階下り側妻部 内壁・窓枠
15	停留場塗替塗装工図-8	天台駅 ホーム階上り側妻部 内壁・窓枠
16	停留場塗替塗装工図-9	天台駅 コンコース階 支柱・窓枠
17	シーリング補修工図	軌道桁 添接板
18	足場仮設計画図-1	上部工足場 C3G9DU
19	足場仮設計画図-2	天台駅 ホーム階





### 上部工塗替塗装工図-2 (軌道桁 C3G9U) 検査路デッキ S=1/25(1/50) C3G9U S=1/150(1/300) 千葉側 千城台側 (J1) (J6) C4P1 (C3P20) (J2) (C3P21) (C3P22) 平面図 A-A 断面図 B-B 断面図 8400 10500 9300 95 500 95 <u>落橋防止装置</u> E SEE 側面(左側) 500 75 950 1350 1350 10501350 1350 1050 1350 1150 23050 13650 22000 高欄(左側) 64000 24500 15000 24500 9300 7500 9300 10500 8400 8400 10500 14400 23600 23600 660 C-C 断面図 1440 ∖ 落橋防止装置 、 検査路デッキ 10500 9300 10500 \_落橋防止装置 部材a 断面図 側面(右側) 950 1350 2 1350 10501350 1350 1050 1350 1350 950 20600 13650 23150 高欄(右側) √ **ø** 40 部材b 断面図 $\sqrt{\phi}$ 50 75 ⊟ ⊱⊏ 軌道桁 10500 9300 8400 バルブプレート 塗装仕様 (一般部) 素地調整 4時間以内 下面 素地調整軽減剤 補修塗 100g/m<sup>\*</sup>、はけ、ローラー 3時間~3日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(グレー) 下塗1層目 200g/㎡、60 μ/回、はけ、ローラー 補剛<u>リブ S=1/50(1/100)</u> 1日~10日 落橋防止装置 S=1/20(1/40) 断面図 S=1/50(1/100) 支承 S=1/20(1/40) 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー C3P2O 端支点部 C3P21 中間支点部 C3P22 中間支点部(右側) C3P20, C4P1 端支点部 C3P21, C3P22 中間支点部 1日~10日 正面図 側面図 C3P22 中間支点部(左側) C4P1 端支点部 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) 中塗 3050 140g/m<sup>2</sup>、30 μ/回、はけ、ローラー \_700\_ 1650 立面図 立面図 立面図 1日~10日 700\_ 1650 C3P20, C4P1 端支点 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 630 330 上塗 400 511 120g/㎡、25 µ /回、はけ、ローラー 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 8 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。 140 280 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。 例 凡 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承及び添接板について 塗 装 仕 様 表示 全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲 194 385 100mmにかけて塗布すること。 塗装範囲(昼間施工・一般部・足場施工) 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。 塗装範囲(昼間施工・一般部・地上施工) 6. 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。 塗装範囲(夜間施工・一般部・ローリング足場施工) 7. 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、 番線等にて水抜きの処置をすること。 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 管理 照査 担当 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 上部工塗替塗装工図-2 工事箇所 図示 図面番号

### 下部工塗替塗装工図-1 (支柱 C3P20) 断面図 S=1/75(1/150) 側面図 S=1/75(1/150) 塗装仕様(一般部) 正面図 S=1/75(1/150) ▼ 下り線側 \_ 起点側 A-A 断面図 素地調整 上り線側 、 終点側 9450 ÊÎ 4時間以内 素地調整軽減剤 補修塗 100g/m<sup>2</sup>、はけ、ローラー 3時間~3日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(グレー) 下塗1層目 **√**A A 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 1日~10日 <u> 4 B</u> **B** • 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 | 落橋防止装置 700 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー B-B 断面図 1日~10日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) 3375 3375 √ C 4 D 10 10 中塗 700 140g/m<sup>2</sup>、30 µ /回、はけ、ローラー 1日~10日 1300 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 700 <u>550</u> 1250 120g/㎡、25 μ/回、はけ、ローラー 550 700 1250 1009 塗装仕様(落書き防止) ĘĘ G C-C 断面図 素地調整 4時間以内 素地調整軽減剤 補修塗 100g/㎡、はけ、ローラー 3時間~3日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 下塗1層目 200g/m<sup>2</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 1日~10日 200 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 200g/㎡、60 µ /回、はけ、ローラー 1日~10日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) φ 1500 D-D 断面図 中塗 140g/㎡、30 µ /回、はけ、ローラー 1日~10日 1300 615 685 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 120g/㎡、25 $\mu$ /回、はけ、ローラー 2日~7日 特殊シリコーン変性ふっ素樹脂クリヤー クリヤー 80g/㎡、15 μ /回、はけ、ローラー 塗装仕様 (基部) E-E 断面図 F-F 断面図 G-G 断面図 素地調整 4時間以内 700 素地調整軽減剤 補修塗 1300 100g/㎡、はけ、□-ラ-支柱乗越え梯子 S=1/25(1/50) 落橋防止装置 S=1/25(1/50) 支柱基部 平面図 S=1/75(1/150) 3時間~3日 柔軟型エポキシ樹脂パテ パテ処理 300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ) 1900 正面図 側面図 正面図 側面図 直ちに~7日 速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1150 下塗 1000g/m<sup>3</sup>、はけ、ローラー 3時間~7日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 120g/㎡、はけ、ローラー a部詳細図 S=1/25(1/50) 凡 $\sqrt{\phi 20}$ 表示 塗 装 仕 様 正面図 H-H 断面図 塗装範囲(昼間施工・一般部・足場作業) $\sqrt{\phi 20}$ 塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業) Ĥ Î 支柱梁 b部詳細図 S=1/2.5(1/5) 塗装範囲(夜間施工・一般部・ローリング足場作業) 550 250 300 塗装範囲(夜間施工・落書き防止・高車作業) 支柱表面 塗装範囲(夜間施工・基部・地上作業) 75 500 75 Ⅰ-Ⅰ 断面図 パテ材 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。 20 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。 6. 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。

千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事

下部工塗替塗装工図-1

≝ 図示

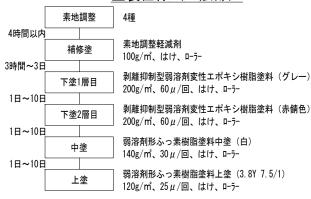
工事名称

工事箇所

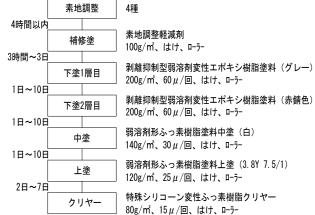
(R5-3工区)

### <u>下部工塗替塗装工図-2</u> (支柱 C3P21) 断面図 S=1/75(1/150) 側面図 S=1/75(1/150) 正面図 S=1/75(1/150) \_ 起点側 素地調整 \_ 下り線側 上り線側 、 終点側 A-A 断面図 4時間以内 ÊÊ 補修塗 $\phi$ 1200 938 3時間~3日 下塗1層目 √A A 1日~10日 <u>4 B</u> <u>B</u> • 下塗2層目 3000 落橋防止装置 落橋防止装置 700 9450 1日~10日 √ C 4 D 中塗 18 1日~10日 B-B 断面図 1300 上塗 700 550 1250 550 700 1250 3375 828 E F 素地調整 4時間以内 補修塗 C-C 断面図 3時間~3日 下塗1層目 1日~10日 $_{\phi}$ 1500 1日~10日 中塗 1日~10日 上塗 D-D 断面図 2日~7日 素地調整 4時間以内 補修塗 E-E 断面図 F-F 断面図 G-G 断面図 H-H 断面図 支柱乗越え梯子 S=1/25(1/50) 落橋防止装置 S=1/25(1/50) 支柱基部 平面図 S=1/75(1/150) 3時間~3日 パテ処理 1900 正面図 側面図 正面図 側面図 直ちに~7日 1150 下塗 3時間~7日 上塗 $\sqrt{\phi 20}$ $\sqrt{\phi 20}$ 支柱渡り部手摺 S=1/75(1/150) 支柱梁 a部詳細図 S=1/2.5(1/5) 支柱表面 起点側 終点側 75 500 75 パテ材 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 工事箇所

### 塗装仕様(一般部)



### 塗装仕様(落書き防止)



### 塗装仕様 (基部)



### 凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲(昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・ローリング足場作業)
	塗装範囲(夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲(夜間施工・基部・地上作業)

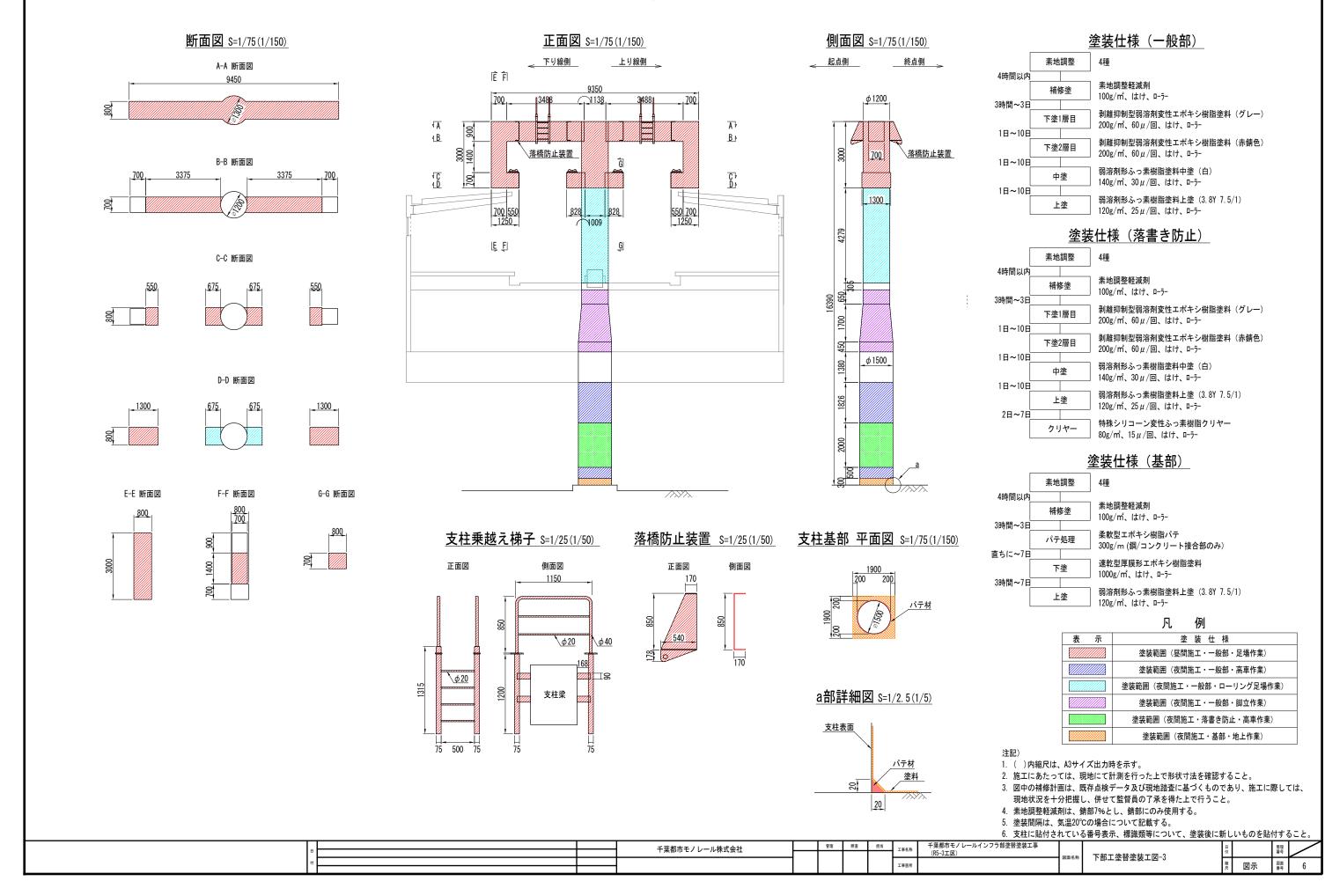
- 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。

下部工塗替塗装工図-2

- 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。
- 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 6. 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。

∰ 図示

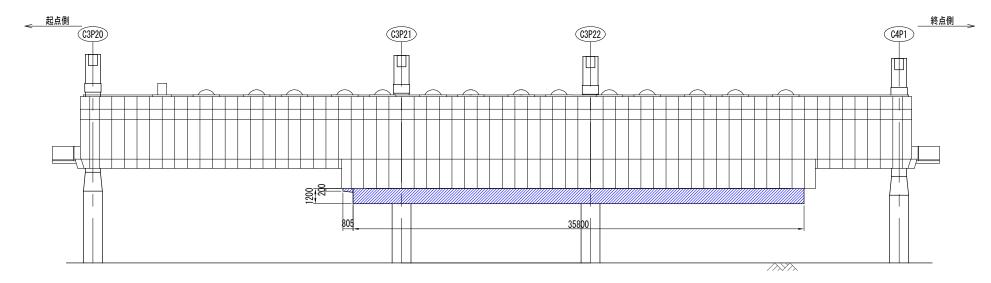
# <u>下部工塗替塗装工図−3</u> (支柱 C3P22)



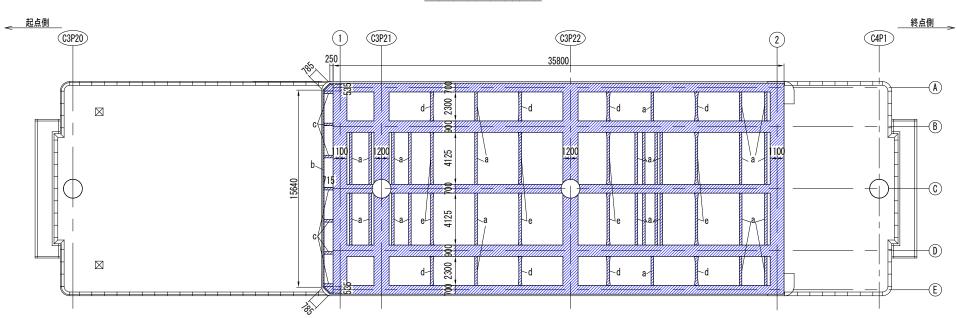
### <u>下部工塗替塗装工図−4</u> (支柱 C4P1) 断面図 S=1/75(1/150) 側面図 S=1/75(1/150) 塗装仕様(一般部) 正面図 S=1/75(1/150) \_ 下り線側 \_ 起点側 A-A 断面図 素地調整 上り線側 終点側 9450 4時間以内 rè fi 素地調整軽減剤 補修塗 100g/m<sup>2</sup>、はけ、ローラー $\phi$ 1200 $\bigcirc 1138$ 3時間~3日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(グレー) 下塗1層目 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー **√**A A. 1日~10日 <u>4 B</u> <u>4 B</u> 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 300 落橋防止装置 **| 落橋防止装置** 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 700 B-B 新面図 1日~10日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) 3375 3375 √ C 1 D 10 10 10 中塗 140g/m<sup>2</sup>、30 µ /回、はけ、ローラー 1日~10日 1300 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 120g/m<sup>\*</sup>、25 μ/回、はけ、ローラー 700 <u>550</u> 1250 550 700 1250 828 1009 塗装仕様(落書き防止) E F G C-C 断面図 素地調整 4時間以内 素地調整軽減剤 補修塗 100g/㎡、はけ、ローラー 3時間~3日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 下塗1層目 200g/m<sup>2</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 1日~10日 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 200g/m<sup>3</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 1日~10日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) φ1500 D-D 断面図 中塗 140g/㎡、30 µ /回、はけ、ローラー 1日~10日 1300 615 685 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 120g/㎡、25 $\mu$ /回、はけ、ローラー 2日~7日 特殊シリコーン変性ふっ素樹脂クリヤー クリヤー 80g/㎡、15 μ /回、はけ、ローラー 200 塗装仕様 (基部) E-E 断面図 F-F 断面図 G-G 断面図 素地調整 4時間以内 700 素地調整軽減剤 補修塗 1300 100g/㎡、はけ、□-ラ-支柱乗越え梯子 S=1/25(1/50) 落橋防止装置 S=1/25(1/50) 支柱基部 平面図 S=1/75(1/150) 3時間~3日 柔軟型エポキシ樹脂パテ パテ処理 300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ) 1900 正面図 側面図 正面図 側面図 直ちに~7日 速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1150 下塗 1000g/m<sup>2</sup>、はけ、ローラー 3時間~7日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 上塗 120g/㎡、はけ、ローラー a部詳細図 S=1/25(1/50) 凡 $\sqrt{\phi 20}$ 塗装 仕様 表 示 正面図 H-H 断面図 塗装範囲(昼間施工・一般部・足場作業) $\sqrt{\phi 20}$ 塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業) Ĥ Î 支柱梁 b部詳細図 S=1/2.5(1/5) 塗装範囲 (夜間施工・一般部・ローリング足場作業) 550 250 300 塗装範囲(夜間施工・落書き防止・高車作業) 支柱表面 塗装範囲(夜間施工・基部・地上作業) 75 500 75 Ⅰ-Ⅰ 断面図 パテ材 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。 20 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。 6. 支柱に貼付されている番号表示、標識類等について、塗装後に新しいものを貼付すること。 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 下部工塗替塗装工図-4 工事箇所 ∰ 図示

# 停留場塗替塗装工図-1 (天台駅 軒天井土木梁-1)

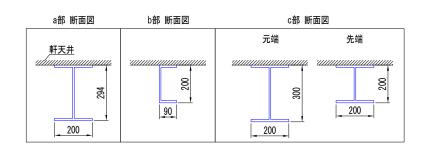
## 側面図 S=1/150(1/300)



## 平面図 S=1/150(1/300)



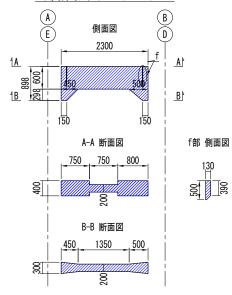
## 断面図 S=1/10(1/20)



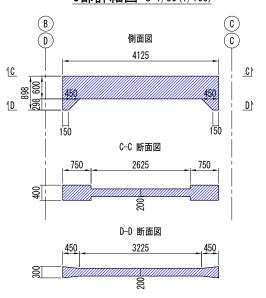
## 塗装仕様(一般部)



# d部詳細図 S=1/50(1/100)



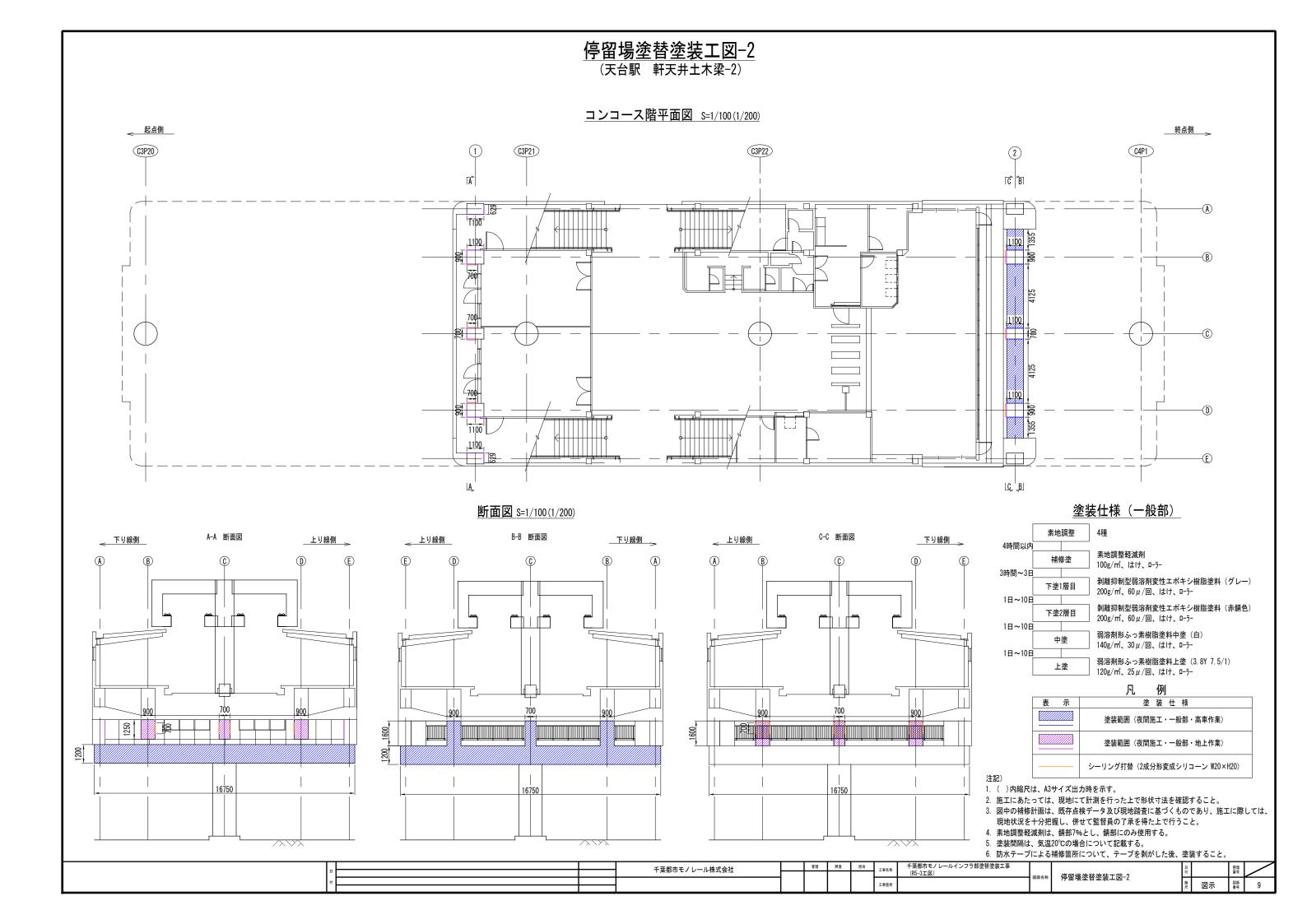
## e部詳細図 S=1/50(1/100)

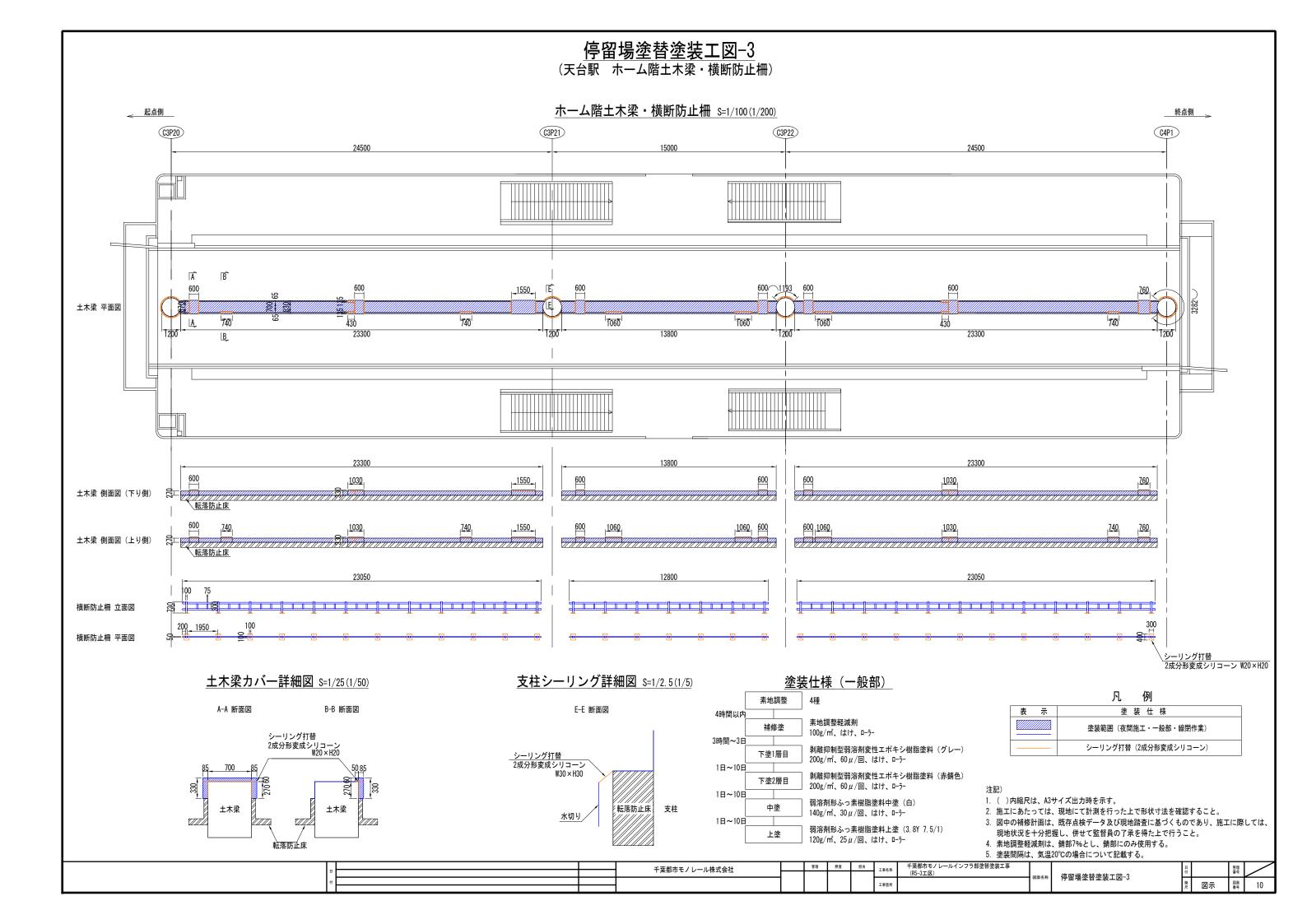


### 凡 例 塗 装 仕 様 表 示 塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)

- 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。
- 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 6. 防水テープによる補修筒所について、テープを剥がした後、塗装すること。

							0.  01/1/1/	ושיטבו	前が固がについて、 アンとがん ひた飲	. <u> </u>	- 0	
		千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事			В	整理	1
1		十未即川モノレール休式去社				工學也你	(R5-3工区)	网络女科	卢卯坦涂扶涂壮丁四_1	付	番号	
<b>I</b> (	<del>1</del>				Γ	工事箇所		國國石物	厅由场坐台坐表工凶~!	# w-	図面 0	1
					- 1	工學因別		l I		尺 凶亦	番号 0	

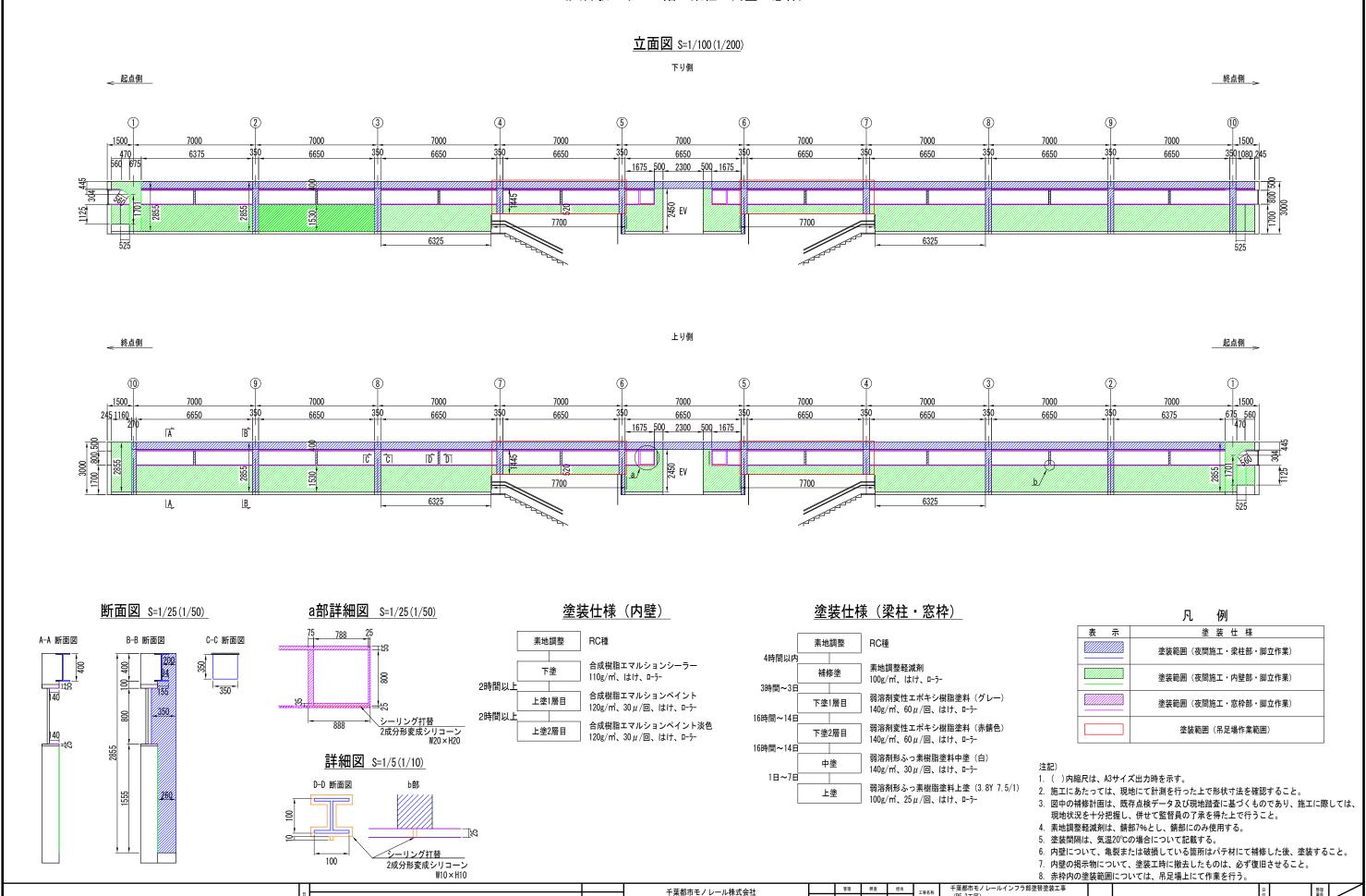




### <u>停留場塗替塗装工図−4</u> (天台駅 サイン設備架台・駅舎屋根) コンコース階平面図 S=1/150(1/300) 駅舎屋根平面図 S=1/150(1/300) ≪ 起点側 **──起点側** \_\_終点側\_\_\_<sub>></sub> \_\_\_終点側\_\_\_\_ サイン設備 点検口 サイン設備架台詳細図 S=1/25(1/50) 点検口詳細図 S=1/25(1/50) 塗装仕様(鉄部) 正面 A-A 断面図 素地調整 RC種 1840 4時間以内 素地調整軽減剤 平面図 側面図 補修塗 100g/㎡、はけ、□-ラ-天台駅 3時間~3日 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(グレー) L-40 × 40 下塗1層目 630 140g/m<sup>2</sup>、60 μ/回、はけ、ローラー 16時間~14日 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 140g/m<sup>2</sup>、60 µ /回、はけ、ローラー B-B 断面図 16時間~14日 3200 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) 中塗 140g/m、 $30 \mu/回$ 、はけ、p-5-1日~7日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 裏面 100g/㎡、25μ/回、はけ、ローラー Ŧ Έ 1840 C-C 断面図 A 手摺り詳細図 S=1/25(1/50) B 平面図 立面図 C, 3200 凡 F D E 表示 塗 装 仕 様 塗装範囲(昼間施工・鉄部・足場作業) D-D 断面図 E-E 断面図 F-F 断面図 塗装範囲(夜間施工・架台・地上作業) 注記) 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。 690 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 停留場塗替塗装工図-4 工事箇所 戀 図示

### 停留場塗替塗装工図−5 (天台駅 ホーム階屋根) ホーム階平面図 S=1/100(1/200) **──起点側** \_\_\_終点側\_\_\_<sub>></sub> C4P1 (3P20) (1) (C3P22) (C3P21) 3 4 1 7000 1405 7000 7000 7000 7000 350 350 6650 6650 6650 6650 23700 23700 水切りL字アングル W30×H30/ B <u>ベメンテナンスシャフト</u> 点検ロ 塗装仕様(梁・天井) 部材詳細図 S=1/25(1/50) 断面図 S=1/50(1/100) メンテナンスシャフト点検口 S=1/25(1/50) 素地調整 RC種 a部 断面図 b部 断面図 c部 断面図 A-A 断面図 B-B 断面図 平面図 4時間以内 元端 先端 素地調整軽減剤 補修塗 100g/m<sup>2</sup>、はけ、ローラー 250 水切りL字アングルW30×H30 3時間~3日 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(グレー) 100 **√**C 下塗1層目 50 140g/m<sup>2</sup>、60 $\mu$ /回、はけ、ローラー 16時間~14日 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(赤錆色) 下塗2層目 140g/m $^{\circ}$ 、60 $\mu$ /回、はけ、ローラー 16時間~14日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗(白) C-C 断面図 中塗 140g/m<sup>2</sup>、30 µ /回、はけ、ローラー 1日~7日 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.87 7.5/1) d部 断面図 e部 断面図 f部 断面図 g部 断面図 100g/m、 $25 \mu/回、はけ、ローラー$ 35 \_\_\_ 凡 塗 装 仕 様 表示 塗装範囲(夜間施工・梁及び鋼板天井・脚立作業) 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。 塗装範囲(夜間施工・梁及び鋼板天井・吊足場作業) 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 塗装範囲(夜間施工・水切り・ローリング足場作業) 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。 塗装範囲(夜間施工・内壁・脚立作業) 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。 5. 塗装間隔は、気温20°Cの場合について記載する。 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 停留場塗替塗装工図-5 工事箇所 戀 図示

# 停留場塗替塗装工図-6 (天台駅 ホーム階 梁柱・内壁・窓枠)



(R5-3工区)

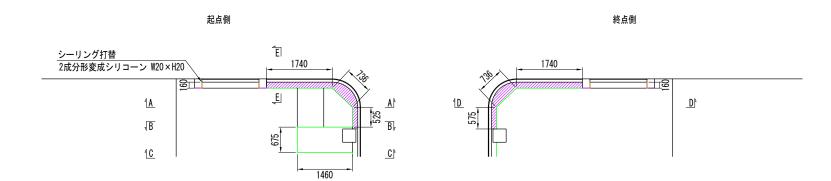
工事箇所

停留場塗替塗装工図-6

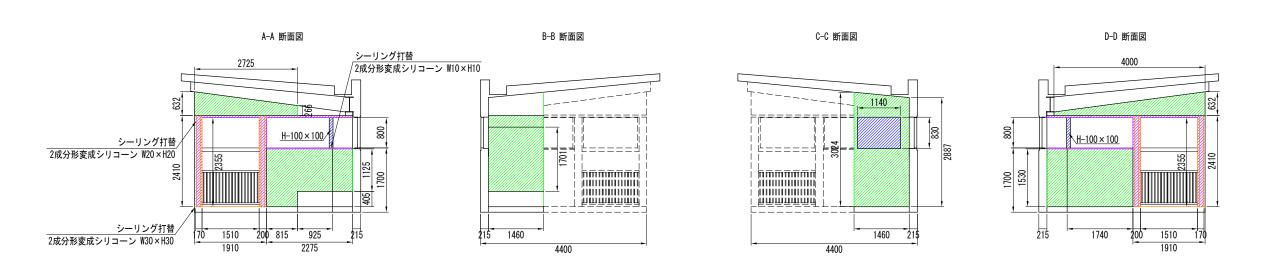
戀 図示

停留場塗替塗装工図-7 (天台駅 ホーム階下り側妻部 内壁・窓枠)

# 平面図 S=1/50(1/100)

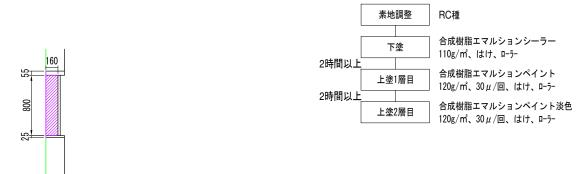


断面図 S=1/50(1/100)

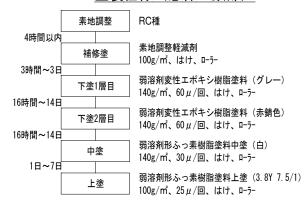


<u>塗装仕様(内壁)</u>

## E-E 断面図 S=1/25(1/50)



## 塗装仕様(窓枠・鉄部)



### 凡 例

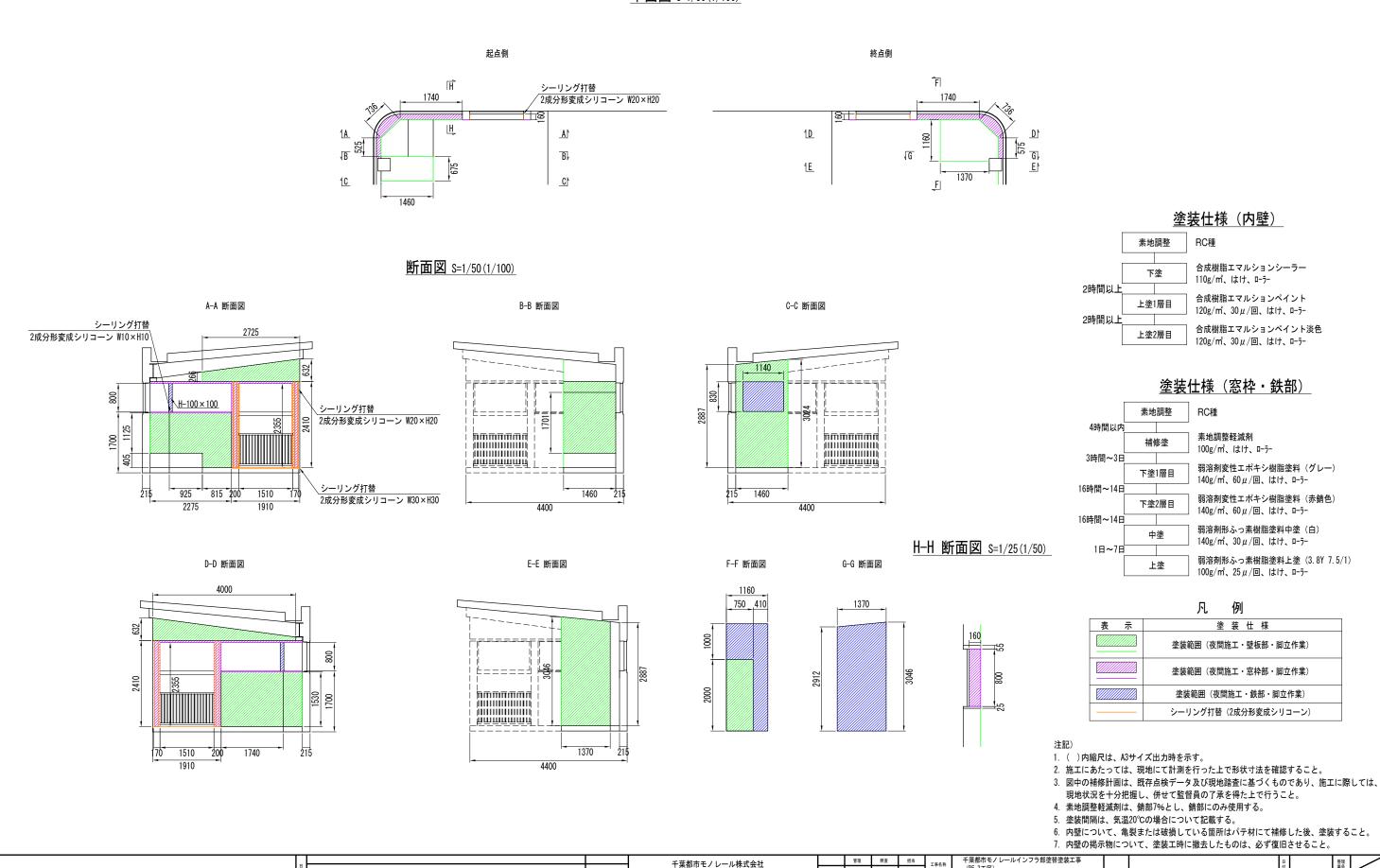
	7 0 1/1
表 示	塗装 仕様
	塗装範囲(夜間施工・壁板部・脚立作業)
	塗装範囲(夜間施工・窓枠部・脚立作業)
	塗装範囲(夜間施工・鉄部・脚立作業)
	シーリング打替 (2成分形変成シリコーン)

- 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、 現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 4. 素地調整軽減剤は、錆部7%とし、錆部にのみ使用する。
- 5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 6. 内壁について、亀裂または破損している箇所はパテ材にて補修した後、塗装すること。
- 7. 内壁の掲示物について、塗装工時に撤去したものは、必ず復旧させること。

							· 13±4714/3	. 1751	· (( <u>+</u> <u>4</u> <u>4</u> )				
		千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事			В		整理	7
I *		十未卸川モノレール休式去社				上带右师	(R5-3工区)	网面皮料	应 <b>应</b> 但涂扶涂壮于図_7	付		番号	•
f	付			l		工事箇所		國國右称	厅田场坐百坐衣工凶-/		<b>∞</b> -	図面 1	1
						工事回7/1		1 1		尺	凶小	番号	4

停留場塗替塗装工図-8 (天台駅 ホーム階上り側妻部 内壁・窓枠)

### 平面図 S=1/50(1/100)

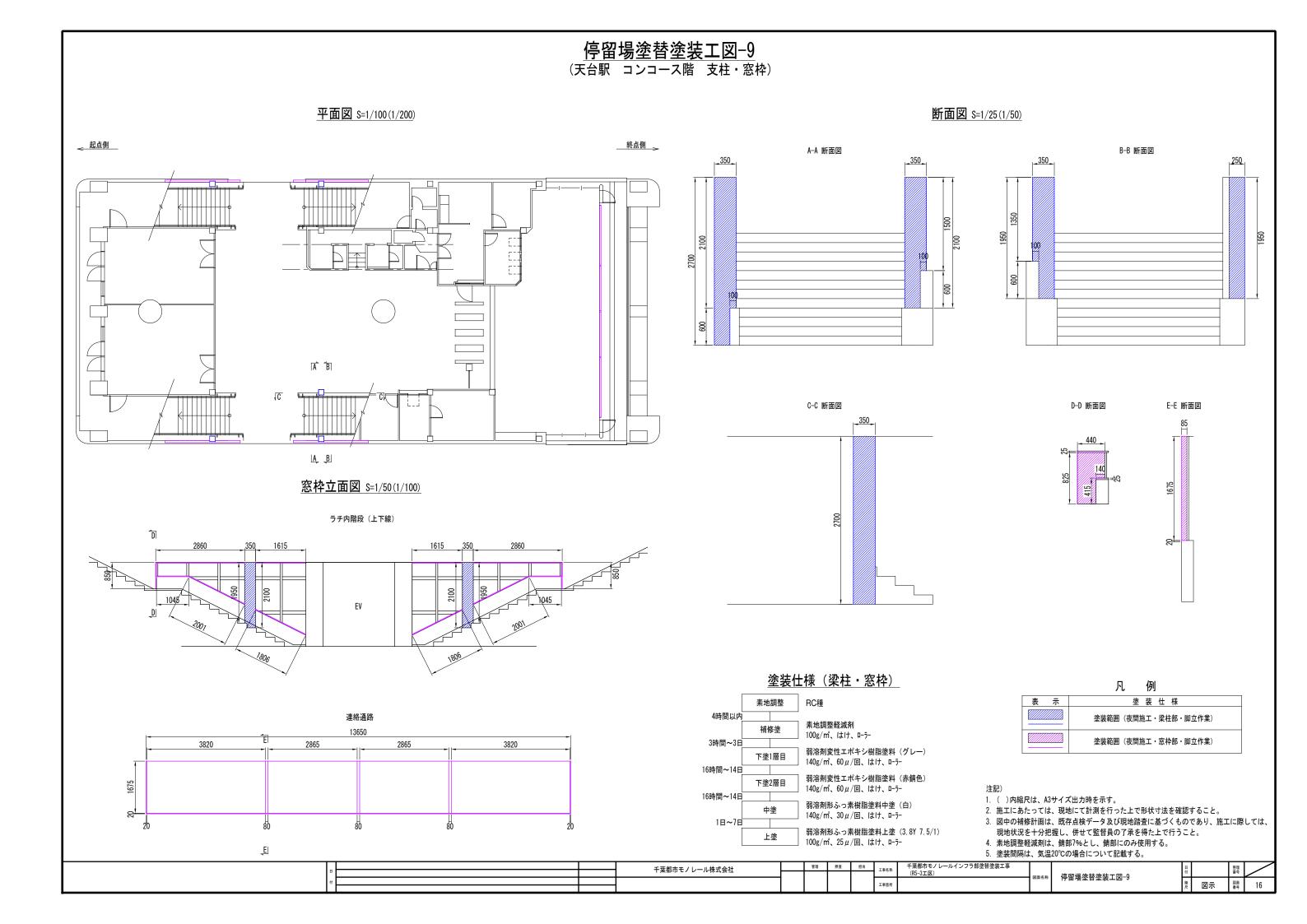


(R5-3工区)

工事箇所

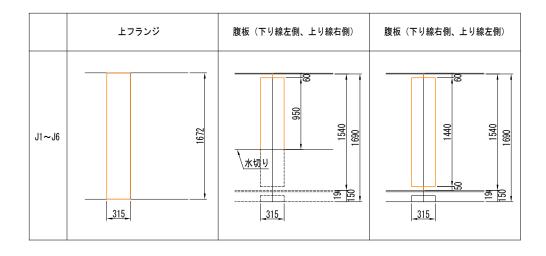
停留場塗替塗装工図-8

戀 図示

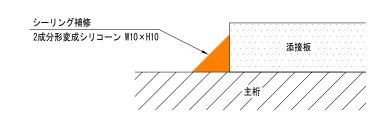


# シーリング補修工図 (軌道桁 添接板)

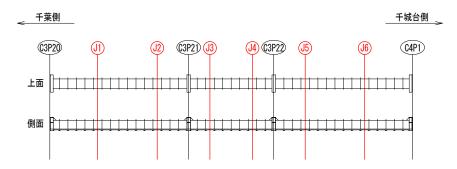
添接板 (C3G9DU) S=1/25(1/50)



## シーリング補修 詳細図



配置図 (C3G9DU)



### 施エフロー



凡 例

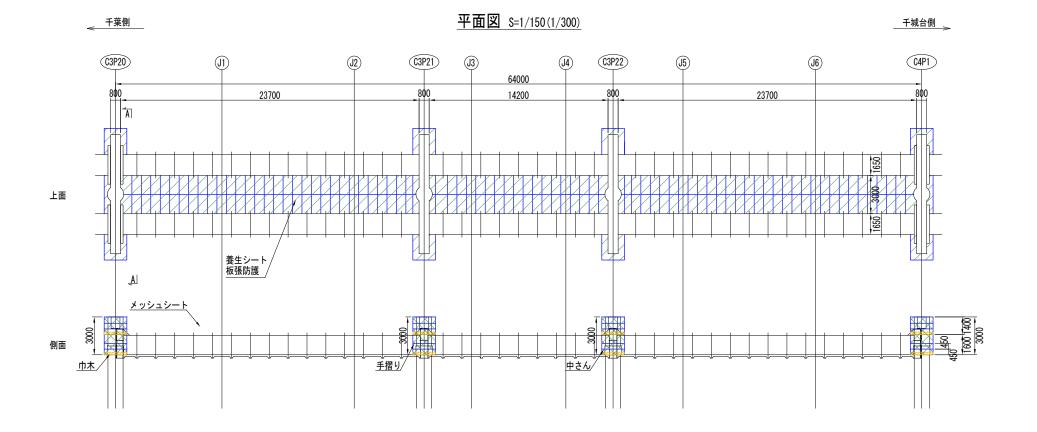
表	示	塗装 仕様
		シーリング補修 (2成分形変成シリコーン W10×H10)

### 注記)

- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

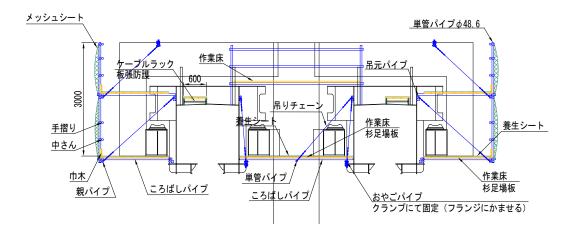
						り がん かん	الاتا ( الر ا ت	せい、 川で て血自負の 1 水で 付た工 て 1 ) 7 に		
	千葉都市モノレール株式会社		管理	照査	担当 工事名称	千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事			日 整理	
B	十条部川モノレール株式芸社	$\neg$	$\neg$		上参右桥	(R5-3 <b>⊥</b> 区)	図面名称	シーリング補修工図	付 番号	
付					工事箇所		図園石柳	ノーリング 無修工区	箱 1/25 図面	17
					工事因別				尺 1/20 番号	17

# <u>足場仮設計画図-1</u> (軌道桁 C3G9DU)



# 断面図 S=1/50(1/100)

### A-A 断面図



- 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、 足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者 の責任において定めるものとする。

					の貝甘にのいく	. 足めるものとする。		
	千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当工事名称	千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事		В	整理
F	十条御川モグレール株式芸社		i i	上参右师	(R5-3工区)	— 図画名称 足場仮設計画図−1	付	番号
f				工事箇所		□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	# 1971	図面 10
			1 1	T#8//			尺  凶小	番号  10

# <u>足場仮設計画図−2</u> (天台駅 ホーム階足場) 平面図 S=1/100(1/200) C4P1 千葉側 (C3P20) 千城台側 \_ (C3P21) C3P22 2 3 4 1 Ā 1 B B h 足場材 (3850mm×660mm) <u>∖ ローリングタワー</u> 転落防止床 A-A 断面図 S=1/100(1/200) B-B 断面図 S=1/50(1/100) クランプ(H鋼梁にかませる) メッシュシート/ 金網養生 開口部 脚立にて足場に上がる 案内表示 内壁・窓枠を 塗装する 内壁・窓枠を塗装するため 足場材を腰壁の高さに設置する 1. ( )内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。 2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場 構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者 の責任に おいて定めるものとする。 3. 吊り足場は、案内表示を隠さないよう留意して設置すること。 4. 頭上の足場との接触を防ぐため、単管パイプを地上まで下し、金網養生により旅客の立入を防ぐこと。 階段部 転落防止床 ホーム 5. 軌道桁下面、支柱、及び水切りL字アングルの塗替塗装工について、転落防止床上にローリング足場を 仮設して施工を行うこと。 千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事 管理 照査 担当 千葉都市モノレール株式会社 工事名称 (R5-3工区) 足場仮設計画図-2

工事箇所

図示

図面番号